

# Application for Participation

## Associated Schools Project (ASP) for Promoting International Education

ぼくたち わたしたちのふるさと 二川  
～ 地域の素材を活かした学習活動 地域連携を図りながら ～

### Outline of the way the projects will be implemented in the institution (please use extra sheets if necessary)

#### Description of the Project (プロジェクトの概説)

本校が位置する二川は、江戸時代、東海道二川宿として栄えた宿場町である。その伝統を引き継ぎ旧街道には、二川宿本陣資料館をはじめ、常夜灯、旅籠の遺構など、今も当時の景観を偲ぶことのできる建物等が残っている。学校の北側には、弓張山系の岩屋山、松明山、立岩がそびえ、四季折々の変化を楽しませてくれる。そのため、地域の素材を活かすことのできる学習環境に恵まれている。地域ボランティアの方の協力もあり、活動場をを広げることができている。また、視聴覚教育センターや自然史博物館、豊橋総合動植物公園と教育活動にふさわしい充実した施設もある。

これら学校を取り巻く環境を「持続可能な開発のための教育」(ESD)の推進に結びつけていくために、これまでの活動を見直し、地域に密着した学習を系統的に実践していくことが大切である。子どもたちは、将来にわたって自分の地域のよさに気づき、地域に対して誇りと愛情を育むに違いない。

学習を通して、人々の心の温かさ、地域のよさを実感し、人とつながり、共生の心を育てていく。そして、地域への愛着をもたせることによって、地域社会づくりの担い手を育む教育を推進したいと考え、持続可能な発展のための教育(ESD)のプロジェクトを立ち上げることとした。

#### Objectives of the Project (プロジェクトの目的)

本校では、ESDの取り組みを「地域の歴史と文化」の観点から、地域の人とのつながりを深めて、持続可能な社会づくりの担い手を育てていきたい。自分たちの地域の環境や歴史・文化を調べることで、今日的課題を自分のものとして把握し、解決に向けて自ら動き出せる子どもの育成をめざしたい。地域に誇りをもち、持続可能な将来が実現できるような価値観と行動力をESDで培っていきたい。

そのために本校では、以下の4つの活動で次のような目標掲げる。

#### (1) 岩屋の自然に親しむ活動 【写真① 1年生 岩屋緑地にて(秋見つけ)】

地域ボランティアの協力を得て、岩屋緑地公園での自然探索活動が行われている。コーディネーターの西川さんをはじめ、岩屋緑地に親しむ会の方々との協力により、植物の名前や動物との遊び方を教えていただいている。採った木の実や落ち葉でこまやしおり、かんざしを作ったり、池でザリガニつりをしたりと、自然に触れるよい機会となっている。また、自然に対しての興味・関心を深めることができている。

#### (2) 椎茸の菌打ち活動 【写真② 3年生 椎茸の菌打ち活動】

毎年、3年生になると椎茸の菌打ちを体験する。菌打ち用の原木を地域教育ボランティアの方が用意してくれる。菌打ちから、育て方まで丁寧に指導・助言しながら教えてくれる。菌打ちした原木に子どもたちが中心になって水やりをして椎茸を育てる。菌打ちした1年後から徐々に椎茸が生えてくる。成長した椎茸は、子どもたちが家庭に持ち帰り、調理して味わう。

菌打ちの事前学習では、きのこの種類や性質を調べ、発表したり、レポートにまとめ

### (3) 二川宿本陣まつり 【写真③ 6年生 大名行列】

地域と密接なつながりをもつ行事の一つとなっている大名行列。毎年、6年生になると体験する活動である。社会科と総合的な学習の時間を使い、歴史的な流れ、地域のことを学ぶ機会としている。大名行列には、地域の方々と本校と近隣の小・中学校の児童・生徒が参加して行列を盛り上げている。鼓笛隊の演奏を先頭に、手踊り、奴踊りを交えながら行列が進む。

この行事を通して、歴史を学ぶだけでなく、地域の方から踊りを教えていただいたり、和装を身につけたりすることで、伝統文化継承の大切さを知る良い機会となっている。

### (4) 竹灯籠づくり 【写真④ 全学年 竹灯籠まつり準備】

「灯籠で飾ろう二川宿」。二川・大岩まちづくり協議会の方の呼びかけで始まった。子どもたちは、竹を切った切り口の中に思い思いの絵を描く。手にした竹に絵柄を書き込んでいる姿からは、楽しみながらも、真剣に取り組む様子が伺える。ろうそくの灯に映し出された絵には、風情がある。

この取り組みには、全校児童が参加することで、地域と密接にかかわることができている。日本文化のよさを見直すよい機会となっている。

学習を進める上で、PTAの協力はもとより、地域教育ボランティア、校区の方の支えがあり、各行事を実施することができている。地域の教育力に感謝しつつ、地域との連携を図りながら、郷土のよさを伝え、受け継いでいける心を育んでいきたい。

学習を進める上で、PTAの協力はもとより、地域教育ボランティア、校区の方の支えがあり、各行事を実施することができている。地域の教育力に感謝しつつ、地域との連携を図りながら、郷土のよさを伝え、受け継いでいける心を育んでいきたい。

## Execution (プロジェクトの実施)

(e.g. through a specially designed course, through an existing course(s) or as an extracurricular activity)

本校では、前述のとおりESDで育みたい力を「地域の歴史と文化」の観点から学習を進めている。学習を深めていくことで、地域の人とのつながりが生まれ、持続可能な社会づくりの担い手を育むことができると考えている。

自分たちの地域の環境や歴史・文化を調べる学習と地域の自然や人とふれあう学習を軸とすることで、地域に誇りを持ち、持続可能な社会をつくる資質や能力の基礎的な部分を育てることができると考えている。

### (1) 各学年と地域とのかかわり

全学年・・・竹灯籠まつり

1年生・・・岩屋緑地の自然に親しむ会（秋みつけ）、保育園・幼稚園との交流会

お年寄りから学ぶ昔の遊びを楽しむ会

2年生・・・まち探検

3年生・・・岩屋緑地の自然に親しむ会（秋みつけ 春を探しに行こう）

椎茸の菌打ち

4年生・・・二川を支えた人々（小渡しち）

5年生・・・バケツ稲を育てよう

6年生・・・二川宿本陣まつり（大名行列）

（2）活動を進めるためのESDカレンダー（例：6年生）

教科単元	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
国語科	ふるさとのよさを紹介しよう											
社会科	江戸の文化と新しい学問 「江戸封建制と大名行列」											
図画工作	竹灯笼づくり						木版画「本陣祭りを表現しよう」					
総合的な学習	二川小学校の歴史 「二川の宝物」～二川の自然と歴史 大発見～ 二川宿本陣まつり「大名行列」 「二川の宝物」～地域との協力を通して～											

【写真① 1年 秋みつけ】



【写真② 3年 椎茸の菌打ち活動】



【写真③ 3年 本陣まつり】



【写真④ 全学年:竹灯笼づくり】



## Type of materials to be used (使用する教材)

「小学校キャリア教育の手引き」 文部科学省 2010

「かがやくとよはし」 豊橋市教育委員会 2013

「夢を見つけ夢をかなえる航海ノート」 愛知県教育委員会 2012

## Is there any type of evaluation to examine the effects of the project on students' comprehension and attitudes? (プロジェクトに対する生徒の理解と姿勢の評価方法)

児童の理解と姿勢の評価は、以下のように行う。

- ・児童のさまざまな活動への取り組みの成果を学習記録や、レポート、小論文から把握する。
- ・学習や活動のまとめとして、学習発表会や通信などで地域や家庭に発信する意欲・態度を観察して評価する。

上記の評価とともに、さらに下記のことを実践して、ESD活動のさらなる充実を図る。

- ・行事後の「アンケート」や12月に行う「学校評価アンケート」で、保護者、児童、教職員を対象に「地域の特性を取り入れた学習」「地域に愛着と誇りを感じる意識調査」などの項目について、学習への取り組みを調査する。
- ・2月に、児童の実態や地域の特色に沿ったカリキュラムになるように、次年度の学習活動の改善・方針を全教職員で検討する協議会を設ける。

*On behalf of my institution, I apply for participation in the UNESCO Associated Schools Project and give the assurance that this institution will make an active contribution to the Project, as outlined above, for a minimum period of two years. At the end of every year, I shall submit a report of the Project to the ASP National Co-ordinator of my country.*

(本学校を代表して、ユネスコASPの参加申請をし、少なくとも2年間は上記概要にそってASPに貢献する活動を行うことを確約します。また、毎年ASPコーディネーター(※日本の場合は日本ユネスコ国内委員会)に活動のレポートを提出します。)

20/2/2014

Date (日付)

Principal's name (校長名 (※直筆))

Position, (役職) Principal 校長

Institution's name (学校名)

Toyohashi Municipal Futagawa Elementary School

豊橋市立二川小学校

# 学校概要

## School Synopsis

### 1 学校名 豊橋市立二川小学校

School Name: Futagawa Elementary School

※明治6年、大岩学校と二川学校が創立され、明治30年3月31日まで続いた。しかし、同年4月1日に両校の合併が行われ、大川尋常小学校となった。

校章は、大岩学校の「大」と、二川学校の「川」とを合わせ、「大」を桜の花に見立て、中に「川」の字を入れて校章の図案とした。以来、百有余年、連綿として豊橋市立二川小学校の校章として受け継がれている。



### 2 所在地 Address

〒 441-3151

愛知県豊橋市二川町字北裏<sup>きたうら</sup>80番地

#### 【交通案内】 Directions

- ① JR東海道本線 二川駅下車 東へ徒歩 10分
- ② 豊鉄バス住宅前下車 南へ200m

### 3 学校規模 School Size

学級数： 通常学級 16学級 特別支援学級 2学級

教職員数： 校長1 教頭1 教諭23 養護教諭1 非常勤講師3

支援員1 事務主査1 用務員1

児童数： 男子242名 女子 231名 計 473名

### 4 本校の教育 Education History

#### (1) 校区の歴史

私たちの校区には静岡県の湖西市梅田から西に向かう梅田川と、細谷に源を発する落合川が流れていて、この二つの川の合流点にあることから『二川』と呼ばれるようになった。二川校区は弓張山地と呼ばれる赤石山脈の支脈の南端部に位置している。校区の北に広がる山林は大半が国有林であり、針葉樹と広葉樹との混合林である。ここから北は「石巻山多米県立自然公園」に指定されている。また、岩屋山には岩屋観音があり岩屋緑地として親しまれている。

明治元年（1868） 徳川幕府の直轄地であった旧二川宿・大岩加宿の両村は、吉田に置かれた三河裁判所の管轄になった。その後、三河県管轄となる。

明治4年（1871） 額田県の管轄になる。

明治5年（1872） 末から、愛知県の管轄となる。

明治9年（1876） 二川村は、大脇新田との合併を願い出る。

- 明治22年（1889） 全国に市制・町村制が公布される。二川村は大岩村・谷川村と合併して大川村となる。
- 明治26年（1893） 大川村が町制を布く。
- 明治30年（1897） 谷川村が分かれる。
- 明治39年（1906） 谷川村や太平洋に面した細谷村・小沢村を合併して二川町が誕生した。

## (2) 本校の教育目標 Educational Goals

徳・知・体の調和のとれた、豊かな心と学力をもった子どもの育成

### 【校訓】 Motto

- やさしい子（徳）・・・明るく、礼儀正しく、思いやりのある子
- 考える子（知）・・・進んで学び、自分の課題を解決する知恵をもった子
- たくましい子（体）・・・心身ともに健康で、ねばり強くがんばる子

## (3) 経営方針 Management Policy

新学習指導要領の「生きる力」を育むという基本理念に基づき、全教職員が使命感、自覚、プロ意識をしっかりとって教育目標の達成に努める。

- ◎子どもに基盤を捉え、信念をもって教育に取り組む。（信念）
- ◎教師と子ども・保護者・地域・同僚との信頼関係を築く。（信頼関係の構築）
- ◎教職員一人一人が孤立せず、同僚・保護者・地域との連携を図る。（連携）
- ◎教師としての使命と責任を自覚し、力量向上に努める。（力量向上）
- ◎子どもの力を信じ、よき支援者に徹する。（よき支援者）
- ◎学ぶ楽しさや喜びを実感させ、基礎・基本の定着に努める。（学力向上）
- ◎現状を見渡し、一步前進する姿勢を貫く。（日々改善）
- ◎地域に開かれた学校づくりに努める。（透明性）
- ◎教育環境を整え、明るく、きれいな学校を目指す。（環境整備）

## (4) 本年度の重点努力目標 Targets for this year

- いじめゼロ・・・いじめ・体罰・言葉の暴力を絶対出さない学年学級運営を推進する。
- 挨拶・・・家族やお客さん、地域の方に進んで挨拶できる子を育てる。
- 掃除・・・掃除は黙働で、真剣に取り組む心を育てる。
- 読書・・・継続的に本を読むことで、読書する心を育てる。
- 授業・・・チャイムで始まりチャイムで終わる授業を徹底する。
- 学力・・・基礎・基本の定着を図るよう、根気よく指導する。
- 教科担任制・・・中高学年を中心に教科担任制を取り入れる。
- 家庭学習・・・学年で工夫し、計画的に家庭学習を出す。
- 体育的行事・・・運動会や持久走大会などの体育的行事を学級経営に生かす。
- 集団遊び・・・学年学級単位で計画し、定期的実践する。
- 部活動・・・活動を通して、体力増進・技術向上と好ましい人間関係を育む。
- 研修・・・教師としての専門性を磨く。
- 情報発信・・・学年・学級通信、HP等を通して子どもたちや学校の様子を伝える。